

## 資産運用レポート：長期投資の売買タイミング

### 1 はじめに

本多静六博士の著書『私の財産告白』より引用します。

投資戦に必ず勝利を収めようと思う人は、何時も、静かに景気の循環を洞察して、好景気時代には勤儉貯蓄を、不景気時代には思い切った投資を、時機を逸せず巧みに繰り返すよう私はおすすめする

まさにおっしゃるとおりなのですが、投資家心理の影響を多大に受ける株価は、上にも下にもオーバーシュートする傾向があります。よって、このような長期投資を実践するのは意外と難しいです。

皆さんの中にも、リーマンショック後の不況期に株を買ってみたものの、低迷を続ける株価に嫌気が差し、投げてしまった方がいらっしゃるのではないのでしょうか。

真逆のケースとして、安値で買った株を早々に利食ったところ、株価がさらに上がり続け、地団駄を踏んで悔しがるのも、よくある話です。

日々の相場やニュースに翻弄されていると、つい長期的な視点を失いがちです。そんなときに役立つのがロングチャートです。

今回の資産運用レポートでは、ロングチャートを用いた長期投資の売買タイミングについて考察します。

### 2 やり方

やり方は、いたってシンプルです。

まず、自分の買いたい銘柄とは別に、長期投資の売買タイミングを計るための指標となる銘柄をいくつか選びます。長年にわたって使用するため「まずつぶれないであろう」東証一部の大型株が望ましいです。

次に、SBI証券の20年チャート（口座を持っていなくても閲覧できます）と移動平均線を用い、おおまかな売買タイミングを判断します。

それでは次ページより、具体例を見ていきましょう。